

異なるクラス・モデル間のデータ移行 (WIDEX UNIQUEシリーズ以降)

同一シリーズの補聴器であれば、クラスやモデルが異なっても、Noah4またはCOMPASS GPSのデータベースに保存されている調整データを移行できます。

例えば、E4-F2を試聴していただいたお客様がE3-FAも試聴してみたい・・・といったときに便利です。

※COMPASS GPSは最新にアップグレードしておいてください。



● データ移行を行う前に

移行したいデータがNoah4またはCOMPASS GPSデータベースのいずれかに保存されている必要があります。データが保存されていない場合は、移行したいデータが入った補聴器をGPSに接続し、データを保存してください。

● データ移行手順

1. Noah4またはCOMPASS GPSデータベースからデータ移行するお客様を選択します。



2. Noah4をお使いの場合はモジュールバーの「COMPASS GPS」を、COMPASS GPSデータベースをお使いの場合は「新しいセッション」をクリックします。



3. 移行先の補聴器をインターフェイスの通信範囲内に置き、電源をオンにしておきます。



3. 「補聴器データ移行」→「データベースセッションの選択」の順にクリックします。



4. 移行元のデータを選択し、「移行先の補聴器へ接続」をクリックします。



6. 移行先の補聴器が検索されたら、左右の選択を行い、「次へ」をクリックします。



7. 移行先補聴器の音響構成（レシーバーやフック&チューブ、耳せん）を選択し、「次へ」をクリックします。



8. 移行内容を確認し、「インポート」をクリックします。



9. 右画面が表示されれば、データ移行は完了です。

